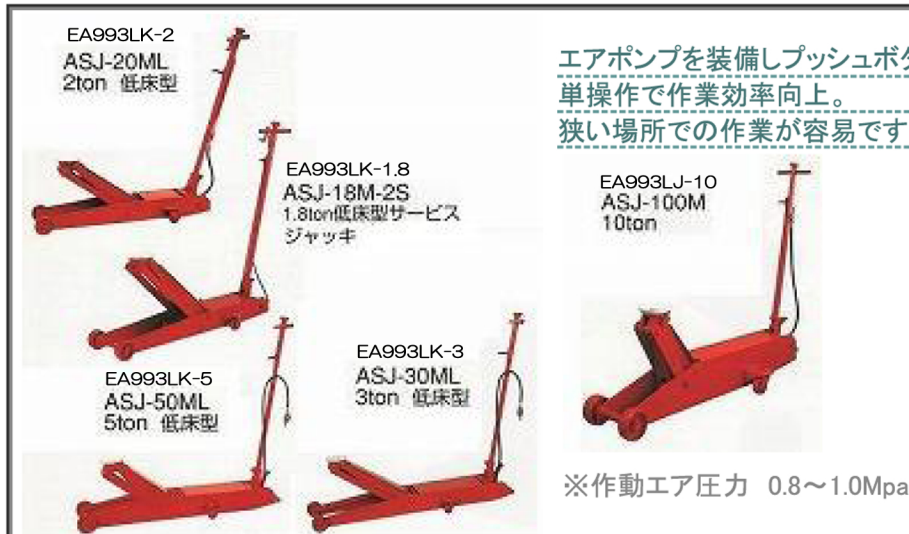


■ エアーサービスジャッキ（エア式）



エアポンプを装備しプッシュボタンを押すだけの簡単操作で作業効率向上。
狭い場所での作業が容易です。

仕様	最大使用荷重	受金最低高さ	ストローク	受金最高高さ	フレーム高さ	全巾	全長	ハンドル長さ	コンプレッサ	質量	上昇時間 無負荷 全負荷	EA品番
型式	ton	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	kw	kg	sec	—
ASJ-18M-2S 低床、高さ調整式受金	1.8	104	505	609	120	380	1061	940	2.2	61	約40 約85	EA993LK-1.8
ASJ-20ML 低床	2	98	410	508	120	380	961	940	2.2	59	約40 約85	EA993LK-2
ASJ-30ML 低床、ペダル付	3	98	515	613	135	417	1367	1070	2.2	90	約60 約165	EA993LK-3
ASJ-30M ペダル付き	3	126	480	606	190	365	1350	1070	2.2	75	約50 約75	EA993LJ-3
ASJ-50ML 低床、ペダル付	5	115	410	525	150	440	1299	1070	3.7	102	約50 約80	EA993LK-5
ASJ-50M ペダル付き	5	150	410	560	200	385	1415	1070	3.7	93	約50 約100	EA993LJ-5
ASJ-80ML 低床、ペダル付	8	115	445	560	180	545	1362	1070	3.7	140	約75 約150	EA993LK-8
ASJ-100M ペダル付き	10	160	400	560	250	495	1545	1070	3.7	140	約75 約180	EA993LJ-10
ASJ-150-2	15	175	475	650	230	505	1800	1115	3.7	235	約60 約240	EA993LJ-15

手動／エア兼用です（ASJ-150-2はエア作動のみ）

最大使用荷重（持ち上げ荷重）

使用上の最大使用荷重とは、受金高さが、揚程の半分の高さまで上がった位置での持ち上げ荷重を示します。

受金高さが、揚程の半分の高さより低い位置ですと、最大使用荷重は小さくなります。（JIS規格）

（注）ASJ-18M-2S・ASJ-20ML・ASJ-30MLは、受金高さが最低位置より最大使用荷重が上げられます。

（上昇時間について）

1. 無負荷上昇時間：供給空気圧力 1.0MPa(9.9Kgf/m²) 20℃時に、無負荷で全揚程を上げるのに要する時間を示します。
2. 全負荷上昇時間：供給空気圧力 1.0MPa(9.9Kgf/m²) 20℃時に、能力荷重を1/2揚程から最高位まで上げるのに要する時間を示します。

※上昇時間は代表値を示し、保証値ではありません。

供給空気圧力・気温が低い場合、コンプレッサ出力・容量が小さい場合等は時間がかかります。